

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	産業振興課長 林 浩一
市民-21 漁港施設管理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 産業振興課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	産業振興	施策の方針 農業・漁業の振興

1 事業の目的

対象	漁業従事者等
意図	腰越漁港施設の良好な維持管理を行うため。
効果	円滑な漁業活動の推進を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

漁港施設維持運営計画に基づき、漁港施設の維持管理を行った。 腰越海岸の飛砂防止のための海、浜整地業務や、必要な漁業施設整備を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備 考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	2,875	4,099	当初予算(千円)	3,276			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他	1,224	556	その他	1,483			
	一般財源	1,651	3,543	一般財源	1,793			
事業経費運営	人員配置数	0.5	0.9	人員配置数	0.9			
	人件費(千円)	3,830	6,925	人件費(千円)	6,929			
	総事業費(千円)	6,705	11,024	総事業費(千円)	10,205			
	市民1人当りの経費(円)	38	62	市民1人当りの経費(円)	58			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	2. 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す必要があり、あまり貢献できていない
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
					事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	維持管理業務経費として、所要の経費を計上している。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	腰越漁港については平成26年度に改修整備工事が完了したため、今後は市が適正に維持管理を行う必要があり、事業費を削減する余地はない。 また、腰越漁港を利用した漁業活動による水産物の供給は市民ニーズも高いことから、今後も継続させていく必要がある。 腰越漁港の指定管理者である腰越漁業協同組合とは常に連携し業務を行っているが、市民利用も踏まえた漁港の有効利用や受益者負担の可能性については、今後更なる協議が必要である。 市民等との協働については、指定管理者制度を利用している観点から、現時点では実施することができない。
-------------------	---

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	腰越漁業協同組合による腰越漁港の指定管理期間が今年度末で終了するため、平成28年度以降の新たな指定管理者の選定を行う。 1号泊地の浚渫の必要性について検討するため、砂の堆積状況を調査する。
課題解決のために行った平成27年度の取組	腰越漁港指定管理者選考委員会を設置し、応募者の募集・選考を行った。 深浅測量業務委託を実施し、1号泊地の砂の堆積状況を調査した。
未解決の課題、新たな課題とその理由	1号泊地の浚渫の必要性について引き続き検討を行うとともに、浚渫方法や範囲、必要経費の算出等を行う。

- 解決
- 一部解決
- 未解決

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方										

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方											

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---